

施 工 業 者 様 用

〈 施 工 説 明 書 〉

株式会社 ウッドワン

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

〔商品相談窓口〕

☎ 0120-813-331

〔受付時間〕平日8:30～17:00

〔休日〕土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

直張り接着工法用フローリング

グランドフローリング

グランドフローリング（床暖房対応フローリング）

グランドフローリング L-45（遮音フローリング）

グランドフローリング エコセーフ（衝撃吸収タイプ）

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください

 注意	施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。 ・屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。 ・油性・水性ワックスの使用禁止。 油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。 ・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。 床材が破壊するおそれがありますので必ず補強対策をし、インシュレーター等を使用してください。
 必ずおこなう	・開梱後は換気を行なう。 本製品はホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
注意!	・適合発熱パネルの確認。 適合しない発熱パネルを使用すると荷重による破損や踏み鳴りまたは事故の原因となるおそれがあります。 ・フロアコーティングは推奨していません。 推奨ワックスをご使用ください。 （フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。）

※床暖房を使用する場合は、必ず床暖房施工に対応した施工方法をお守りください。

床暖房対応床材

・グランドフローリング（床暖房対応）

・グランドフローリング L-45※

※オークは床暖房対応していません。

1 施工の前に確認してください。

① 開梱

梱包を開いたら数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。

当製品は木質製品です。輸送中・施工中の水漏れは厳禁です。

開梱後、製品に水漏れ等の不具合があった場合には必ず施工前にお買い求め店または弊社までご連絡ください。

また開梱後は速やかに施工してください。

② フロアーの仮並べ

フロアーの表面には木材を使用しているため、色や木目・溝部分に多少の違いが出る場合があります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

極端な不具合などがありましたら、施工前にお買い求め店または弊社までお申し出ください。

施工後のお申し出には応じかねます。

③ 工具の準備

■指定接着剤

ウッドワン専用接着剤(品番:ZX0211)

～ウレタン系一液接着剤～(クシ目コテ同梱)

オーシカ(株)(品番:UR-145)～ウレタン系一液接着剤～

コニシ(株)(品番:KU-928R)

※上記の接着剤からお選びください。

※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エマルジョンなどの水性系接着剤は使用しないでください。

2 施工手順

① 下地の確認(施工)

(1)十分な乾燥の後、施工する

モルタル下地・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。

モルタル下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。

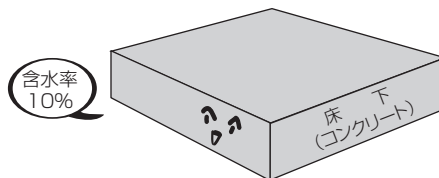
屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。

(2)モルタル下地の場合

- モルタル含水率計を使用して、モルタル含水率が10%以下であることを確認してください。

※乾燥の目安は、打設後、夏季で3週間、冬季で4週間以上が必要です。

※含水率が10%より高いと接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。

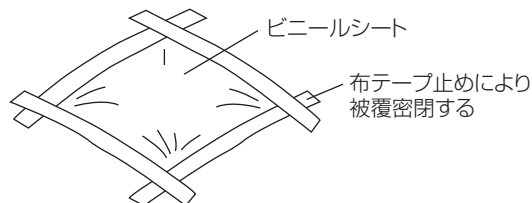


お願い

■モルタル含水率計を使用しない場合

モルタル表面を1m×1mのビニールシートで覆い、24時間後、モルタル表面が変色せず、ビニールシート裏面に結露が発生していないことを確認してください。

※テープでビニールシートを密封するために油污は溶剤で拭き取ってください。

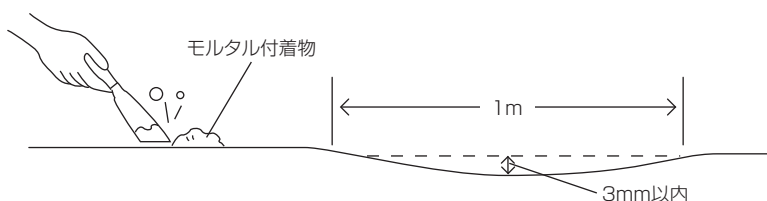


- モルタル表面に粉ふきやほこりがある場合には、十分に除去してください。小粒のモルタル付着物が多く除去が困難な場合にはセルフレベリング材などで平滑にしてください。

- 不陸は、1mあたり3mm以下としてください。

これより大きくなると踏み鳴りや接着不良のおそれがあります。

- 部分的な起伏・モルタルの浮き・亀裂がないことを確認してください。部分的な凹みは深さが3mm以下で広さが100cm²以内としてください。



(3)ALC(軽量気泡コンクリート)下地の場合

- ALC板は表面がもろく、施工後、床材がはがれるおそれがあります。

ただし、モルタル等で下地調整して「(2)モルタル下地の場合」同様の下地処理を行った場合は施工が可能です。

(4)床暖房パネル(周囲の高さ調整用合板下地材含む)の場合

- 直張り接着工法用の発熱パネルであることを確認してください。
- 発熱パネルは各メーカーの施工要領に従って施工してください。
- 発熱パネルの周辺の副資材(合板等)との段差が1mm以下になるように仕上げてください。

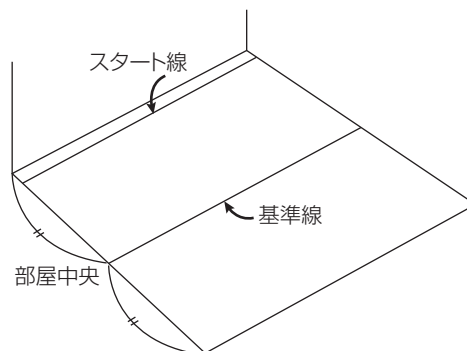
※クッションフロアーの上には施工できません。

※パーティクルボード・MDF等の下地および二重床へのご使用はできません。

② フロアーの割り付け・墨打ち

(1)割り付け・墨打ち

- 部屋の中央に基準線を墨出ししてください。
- 廊下や壁際などの隅部の納まりを考慮して、基準線を平行移動し張り始めのスタート線を墨出ししてください。



(2)張り始め

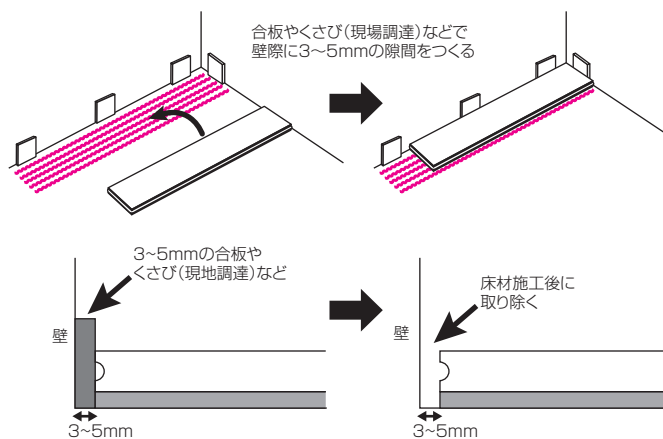
墨出したスタート線に合わせてフロアーの張り始めの位置を決めます。

(3)壁際の納まり

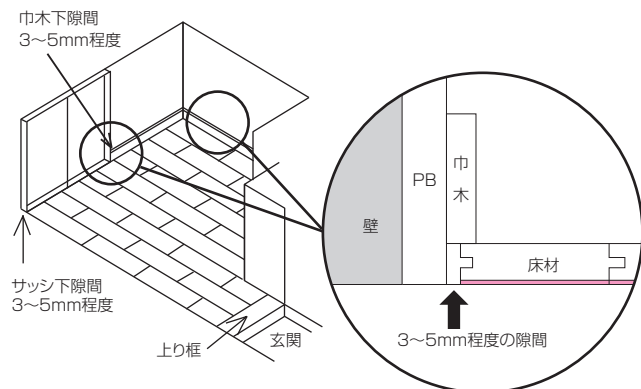
- 床材周囲の壁・敷居・下枠サッシ下などとの間には、3～5mm程度の隙間を開けて施工してください。
※木質フローリングは、水分の吸湿乾燥によって、伸び縮みします。
そのため、隙間を開けないと突き上げが発生するおそれがあります。
※3～5mm程度の隙間を開けられない場合には、床材の短辺部の接合を0.2～0.4mm程度の隙間ができるように軽く突いて施工してください。

- 厚さ3～5mmの合板やくさび(現場調達)などを壁等と床材の間にはさみ、施工後に合板やくさびなどを除去すると隙間が開けられます。隙間を隠すため、巾木は後から施工してください。必要に応じてコーキング処理などを行ってください。

壁際の隙間の設置方法



施工例



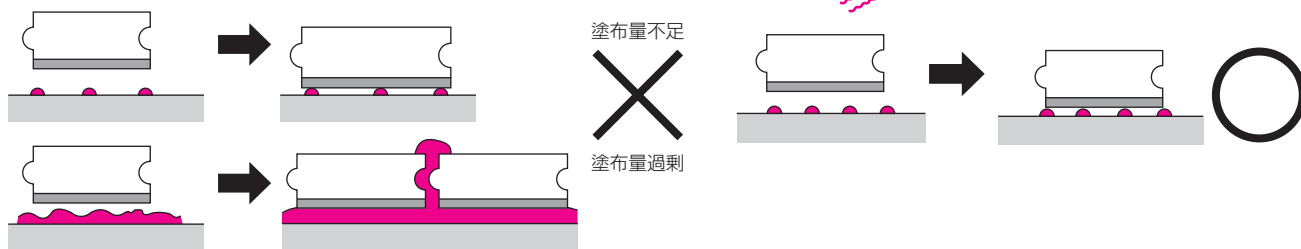
③ 接着剤の塗布・張り施工

(1) 接着剤の塗布

当社指定のウレタン樹脂接着剤で施工してください。
接着剤はよく混ぜてから使用し、**塗布後30分以内**に床材を施工してください。

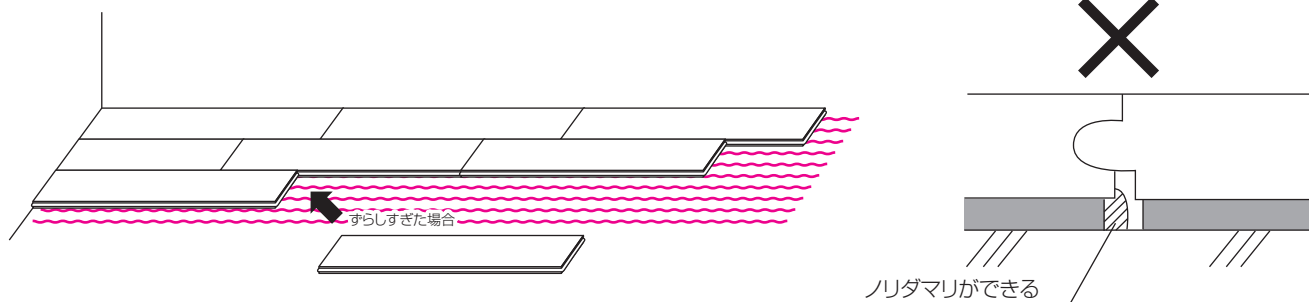
- 接着剤の塗布量: 400~500g/㎡(約30㎡/20kg缶)
- ※同梱の専用クシ目コテをお使い頂きますと、おおよそこの塗布量になります。
- ※下地の不陸が大きい場合は、塗布量を多めにしてください。

接着剤の適正塗布量



(2) 張り施工

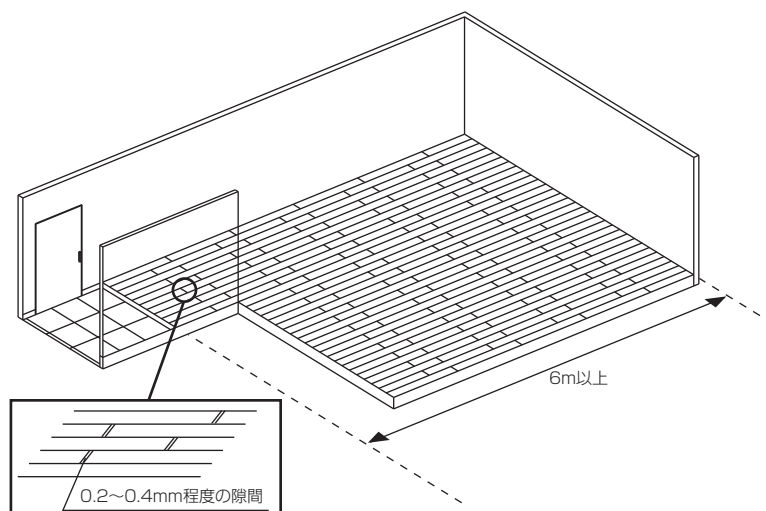
- 2枚目以降のフローアは、できるだけずらさないようにしてサネを差し込んでください。
ずらしすぎるとサネ部にノリダマリができて歩行感が硬くなります。



- フローアの施工は、ゴムハンマーを使用し、フローア表面を軽く叩いて、軽く突く程度にサネをはめてください。不陸等によりサネがはいりにくい場合には、再度、ゴムハンマーで軽く締め直してください。

※踏み鳴りの原因となりますので釘は絶対に使用しないでください。

- フローアは尺ずらし(303mm)以上としてください。
- フローアの長手方向の施工距離が長い場合(廊下~リビング等)、湿気によりフローアが伸びて突き上げが発生することがあります。6m以上の場合にはフローア短辺部の接合部を0.2~0.4mm程度フローアの伸びを考慮した隙間を設けるか、見切り材をいれて、見切り材とフローア材で3mm程度の隙間をもたせて施工してください。



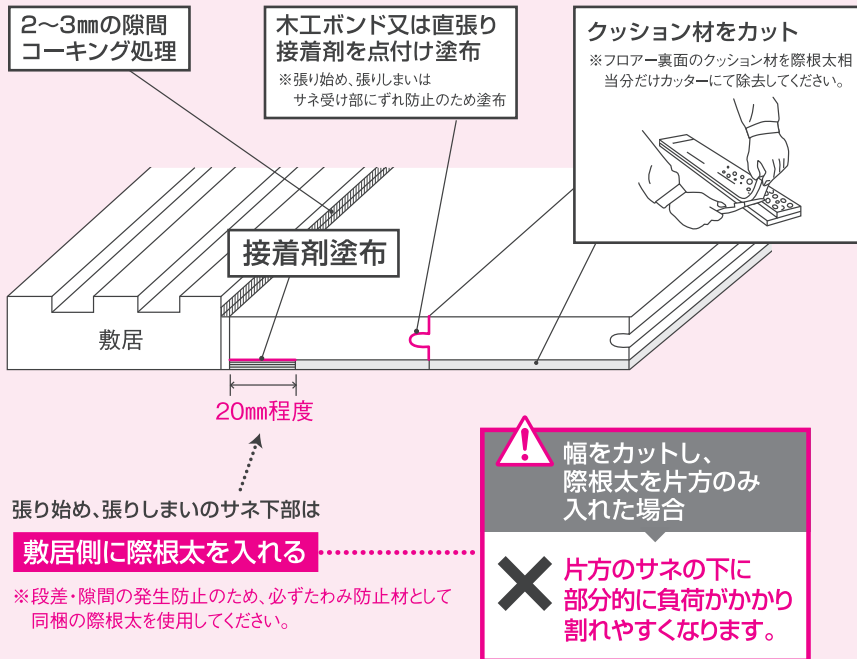
遮音タイプを施工する場合

際根太の設置

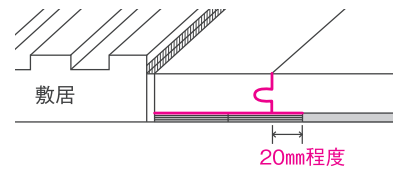
上り框、敷居等との突き付け部分には、段差・隙間が発生するのを防止するため、必ずたわみ防止材として同梱の際根太を使用してください。また、際根太と床材は接着剤で固定してください。

〈上り框、敷居等との突き付け部分〉

幅91mm以上にカットした場合

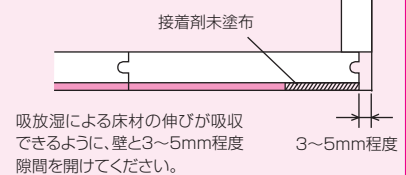


※幅91mm未満にカットした場合



隣接するフローアに20mm程度かかるように際根太(板材)を入れる

壁際の巾木の下部については、際根太と床材は接着剤で固定しないでください。際根太の幅については、上記と同様になります。



④ 梅雨時期の湿度対策

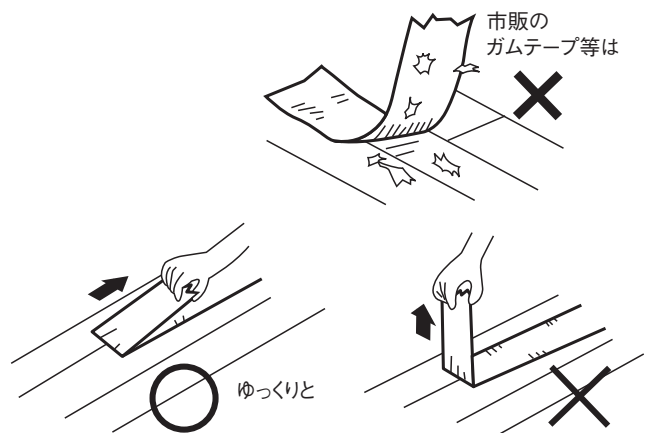
- 施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

⑤ 養生

- フローア施工後、接着剤が硬化するまではフローアが動かないよう適正に養生してください。(養生期間:1週間程度)
- 施工後は、木屑や砂、ごみをきれいに取り除いてダンボール、ベニヤまたは養生カバー等で隙間なくカバーしてください。市販のガムテープや粘着力の強い養生テープをご使用になりますと、塗膜の剥がれの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れていないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。
- 養生テープを取り除く際は、テープを床面と垂直にしながら剥がすと、製品表面の塗膜剥離をおこすおそれがありますので、テープを床面と平行にしながら、ゆっくりと剥がしてください。

⚠ 注意

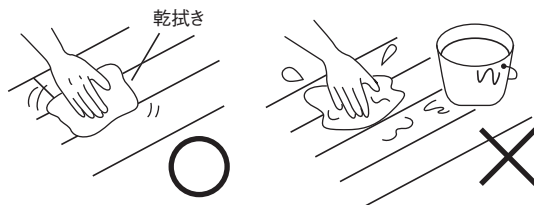
養生期間中、絶対に床暖房および暖房機器の使用は避けてください。フローアのサネ接続部の隙間発生などの原因となるおそれがあります。



3 施工終了後

汚れ落とし

ほこり、小さな汚れを乾いた布で乾拭きしてください。水拭きを行うと長期の間に割れが発生することがありますので、避けてください。ただし、汚れのひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を固く絞ってから拭いてください。



美装業者様におかれましては、下記の点およびワックス塗布の注意事項について十分注意して作業してください。

※フローリング表面に、水や洗剤を撒き散らさないでください。変色や、床材の変形(膨れ)の原因になります。

※ポリッシャーには柔らかいバットをご使用ください。表面のキズの原因になります。

ワックス塗布の前に

①ワックスの選定

半年に一度、ワックスによるお手入れを施してください。必ず弊社推奨のワックスをご使用ください。他のワックスはトラブルの原因になります。

商品名	推奨ワックス
コンビットグランド プラスランダム	ハイテックフローリングコートつや消し40、 ノンブライト(共にリンレイ)
上記以外	ハイテックフローリングコート(リンレイ)

※**油性ワックス・ロウワックスは絶対に使用しないでください。**
(油性ワックスの上に樹脂ワックスを塗布した場合白化することがあります)

※化学雑巾は使用しないでください。(特にワックス塗布直前・塗布後は絶対に使用しないでください)

②天気の良い日を選び、窓を開けましょう

※雨天等で、湿度が極端に高いときは避けてください
※気温が低く床材表面が5℃以下での使用はお控えください
※床暖房用フローリングのお手入れは、床暖房のスイッチを切り、フローリング表面が冷えてから行ってください。床暖房中に作業を行うと、床暖房パネルの故障、フローリング表面のヒビ割れ、変色などの原因となります。

③汚れ落とし

(イ)床面のゴミ・ホコリ等を掃除機を使用して十分に取除いてください

(ロ)床用洗剤(「マイペット」、「オール床クリーナー」等)を薄めた液を雑巾に含ませ、強く絞ってから拭いてください。

※施工後の床材の表面には、汚れ・油分が付着しているので、十分に洗浄をしてください。

※洗剤を使用する場合は、予め目立たないところで試験洗いをし異常のないことを確認してください。

※アルカリ性の強い洗剤は使用しないでください。

※**洗剤を、フローリング表面に多量に撒き散らしたり、多量に塗布しないでください。**

※スプレータイプの床用洗剤の場合は、雑巾に洗剤をスプレーして拭いてください。

(ハ)水を含ませ、強く絞った雑巾で**洗剤を完全に拭き取ってください。**

※洗剤の成分が床面に残るとワックスの密着が悪くなります。

※床材の目地にも洗剤が残らないようにきれいに拭き取ってください。

ワックスの塗布

①床が完全に乾いたら、きれいな雑巾にワックスを含ませ、木目に沿って**薄くムラ無く均一に**塗ってください。

※雑巾は汚れ落とし用とは別のものを使用してください。

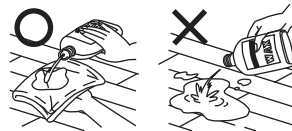
※ワックスを十分に攪拌してください。

※フローリング表面に**撒き散らして塗布せず、また塗りすぎないでください。**

※床材の目地に、樹脂ワックスが溜まらないように注意してください。

※重ね塗りの場合、**前に塗ったワックスを必ず乾かしてから塗布してください。**

②乾燥するまで、ワックスを塗ったところを歩かないでください。



ご使用において

※ワックスは床材を保護しメンテナンスが容易にできる反面、塗料に比べ柔らかい性質のためご使用において、すり傷状に見えたり、光沢がおちてくることがあります。スリッパの底面はきれいにし、また重量物や椅子などを引きずらないようご注意ください。

※水がこぼれて、そのまま放置したり濡れた足で歩くと、白化したり剥がれる原因になります。すぐに乾いた雑巾で拭き取ってください。

フリーワックス製品に関して

フリーワックス製品に関してはワックス塗布は必要ありません。汚れや薬品による汚染、変色が発生しにくく、傷がつきにくい性能を有しています。(お客様の希望によりワックス塗布は可能ですが、化粧表面はワックスの塗布性能となります)

⚠ 注意

ワックスは使用を誤ると、べとついたり白化や粉化、変色、密着不良などの異常を起こす場合があります。必ず※印の注意事項を遵守してお手入れしてください。

ワックス剥離剤は製品の美観および品質をそこないます。絶対に使用しないでください。

※濃色系の床材は光沢の加減でワックスの擦り傷が目立つ場合があります。ご了承ください。